

## 「ばら」を題材とした特産物を使った地域活性化イベント事業

### 取組に至る背景・事業の目的

「バラまつり」の開催など地域ブランドとしてばらのイメージは定着しつつあるが、ばらに関する特産品は少ないことから、新たな特産品の発掘をおこなう。

### 事業内容

- 「ばらかるた」の制作
  - ・なかのバラまつり期間中（H27. 6. 1～6. 22）に、中野市及び山ノ内町を中心に読み札を募集したところ、634件（うち小学生364件、中学生212件、一般58件）の応募があった。
  - ・選考した読み札は、中野青年会議所45周年記念式典において表彰をおこなった。
  - ・制作した「ばらかるた」は中野市・山ノ内町の全小・中学生、高校生に地域ブランドの教材として配布。



【ばらかるた】

- ジャンボばらかるた大会の開催
  - ・日時 平成27年6月15日（日）
  - ・場所 なかのローズタウン（中野陣屋前広場）
  - ・参加者 21名



【ジャンボかるた大会の様子】

### 事業効果

- 「ばらかるた」を地域住民と協働で制作することで、ばらに対する関心が高まり、「中野市・山ノ内町の住民＝ばらに詳しい」を一つの地域ブランドとして、誇りを持って全国に発信できると考える。
- 「ばらかるた」を配布した小学校では教材として扱っていただいているが、自分達が応募したかるたが教材として手元に届いたことで子どもたちのばらへの興味が更に深まったと思われる。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 子どもから大人まで幅広い年齢層で参加しやすい、また、家庭においても使用しやすい題材として「かるた」を制作した。制作後も家庭内、地域で愛される遊びであることもポイントである。
- 地域住民の意識の向上に伴い、地域への愛着、誇り、郷土愛を高められるように取り組んでいきたい。

#### 【選定のポイント】

次代を担う世代への意識付けとして小中学生と地元住民が協働で制作したことは着眼点が個性的であり、若年層の知識が更に深まったものと評価できる。また、中野市のみならず山ノ内町へのアプローチも、広く地域ブランドとして意識が向上されるものと期待する。

団体名 公益社団法人 中野青年会議所	事業タイプ ソフト事業
連絡先 0269-26-3412	事業費 1,636,120円
ホームページ <a href="http://www.avis.ne.jp/~jcnakano/">http://www.avis.ne.jp/~jcnakano/</a>	支援金額 1,226,000円